

荒木寛二作 「イースター物語」

<前編「十字架への道」>

- ナレーション イエスは、およそ 30 歳のころ、故郷のナザレを離れ、神様とその教えを語り始められました。また多くの病人をいやし、ご自分が神様から遣わされた救い主であることを、数々の教えと業によって示されました。3 年にわたる生活の中で、多くの弟子たちも起こされ、人々は日に日にこのナザレのイエスこそ、約束のメシヤ＝キリストではないかと、大きな希望を見だし始めました。しかし祭司長や長老たちは、イエスがその上辺だけの信心深さと、どん欲な思いを鋭く批判されたこともあって、イエスに反感を覚え、次第に憎み、やがては殺してしまおうと考え始めました。イエスの最期の時は近づいていました。その夜、イエスは弟子たちとともに、エルサレムにあるゲッセマネの園で夜を徹して祈っておられました。イエスは、繰り返し、力を振り絞って祈りました。汗が血の滴りのように、額を伝わって、地に落ちました。
- イエス 我が父よ、できますならば、この杯を私から過ぎ去らせてください。しかし、私の願うようにではなく、あなたのみ心のようになさせてください。
- ナレーション イエスは、弟子のペテロたちにもこのように命じられました。
- イエス ペテロ、あなた方も誘惑に陥らないように、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えていても、肉体は弱いからです。
- ナレーション けれども、彼らは忙しい一日の疲れには勝てず、眠り込んでしまっていました。と、イスカリオテのユダを先頭に、イエスを捕らえようと機会を狙っていた祭司長らの一団が近づいてきました。このユダはイエスの弟子でしたが、銀貨 30 枚でイエスを裏切り、祭司長たちの手先となっていました。暗闇の中で、剣や棒を手にも、その一団は、息を殺して近づいてきました。
- ユダ 先生、お元気ですか？
- イエス ユダか。何のためにここに来たのかね？
- 祭司長 あいつだ。イエスだ。捕らえろ！
- ナレーション イエスは捕らえられ、まず大祭司カヤパのもとに連れていかれました。弟子たちのうちペテロだけが、恐る恐る遠くからイエスを追って行きました。そして大祭司の家の中庭に、人々の間に隠れて座って見守っていました。
- イエス 私は確かに神の子キリストです。あなた方に言うておきますが、天におられる父なる神と共に、私も天のみ座に着き、やがて天の雲に乗って再び来るのを、あなた方は見るようになります。
- カヤパ この言葉は神への冒とくだ。自分を神とする発言だ。もはや、証人など必要はない。この神を汚す言葉を、あなた方はどう思う？
- 群衆 彼は死刑だ！ 死刑だ！
- ナレーション 人々は一斉にイエスに近づき、悪態をつき、顔につばきをかけ、こぶしで殴って卑しめました。イエスは人々のなすままに任せ、一言も語られませんでした。人々の中にカヤパの家の女中がいて、目ざとくペテロを見つけて言いました。
- 女中A あんたも、ガリラヤ人イエスと一緒にいたでしょう。私、覚えがあるわよ。

ペテロ あんたが何を言っているのか、わしにはさっぱり分からん。人違いだろう。

ナレーション ペテロは、「イエスを知らない」とのろいをかけて誓い始めました。するとすぐ、暗闇の中から鶏が鋭く鳴きました。ペテロはその鳴き声を聞いて、一瞬我に返りました。イエスの言葉を思い出したのです。

イエス(効果音) (エコー) 鶏が鳴く前に、あなたは3度、私を知らないと言います。

ナレーション その時イエスは振り向いて、ペテロをじっと見つめられました。ペテロは庭から逃げ出して、地に伏して激しく泣き続けました。

一方裏切ったユダは、イエスが罪に定められるのを知って悔い、イエスを裏切って得た銀貨30枚を神殿に投げ込んで立ち去り、自ら命を絶ってしまいました。祭司長、長老、律法学者たちは、イエスを縛って、総督ピラトに引き渡しました。イエスはピラトの前に立たれました。長老たちは次々とイエスのことを訴えました。しかしイエスは何も反論されませんでした。

ピラト あなたはユダヤ人の王なのか？

イエス そのとおりです。

ピラト では長老たちが言っていることは誤りなのか？

イエス ……

ピラト お前は何も反論しないのか？ 不利になるだけだぞ。

イエス ……

ナレーション イエスは沈黙を続けられました。ピラトは、イエスに罰すべき確かな罪を認めることができなかったので、何とか釈放しようとした。そこで、過ぎ越しの祭りには囚人の一人を赦免する慣例になっていたのを利用して、イエスを自由にしようとしたのです。

ピラト 今年の祭りには、あなた方はだれを釈放してほしいのか？ バラバか、それともキリストと呼ばれている、あのイエスか？

群衆 バラバだ！ バラバを釈放しろ！

ピラト では私にイエスをどうしろと言うのか？

群衆 十字架につける！ 十字架だ！

ナレーション 人々は祭司長たちに説き伏せられていたのです。ピラトもその声に負けて、イエスを十字架にかけよう引き渡してしまいました。総督の兵士らはイエスにいばらの冠をかぶせ、口々にこうはやし立て、辱めました。

兵士たち ユダヤ人の王様、万歳！

ナレーション イエスはゴルゴタと呼ばれる処刑場に着き、2人の強盗と共に、十字架につけられました。

群衆 神の子なら、自分を救ってみろ。今、十字架から降りてもらおうか。

イエス 父よ、彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分で分からないのです。

ナレーション 強盗の一人まで悪態をつきました。

強盗A お前はキリストではないか。自分と俺たちを救ったらどうだ。

強盗B お前は神を恐れないのか。俺たちは、自分のしたことの報いを受けているのだからしょうがないが、この方は、何も悪いことをしなかったんだ。イエス様、あなた

がみ国の位にお就きになった時には、どうぞ私を思い出してください。

- イエス
まことに、あなたに告げます。あなたは今日、私と共にパラダイスにいます。
- ナレーション
子たちは皆恐れて逃げ出しましたが、母マリヤ、女の弟子たちとヨハネは、十字架のイエスを見守っていました。
- イエス
お母さん、このヨハネがあなたの息子として助けてくれます。ヨハネ、私の母はあなたの母です。
- ナレーション
12 時から辺りが暗くなり、午後 3 時にまで及びました。まるで人の心の闇を示すかのように。
- イエス(効果音)
エロイ、エロイ、ラマ、サバクタニ。(女声でオーバーラップ)我が神、我が神、どうして私をお見捨てになったのですか？
- 群衆
預言者エリヤを呼んでいる。エリヤが助けに来るだろうか？
- ナレーション
これは、イエスが人の罪の身代わりに、十字架の罰を受け、父なる神から見放されようとしている時に上げられた、不振や絶望の叫びではなく、神への信頼の叫びでした。
- イエス
父よ、私の霊をみ手に委ねます。
- ナレーション
こうしてイエスは息を引き取られました。この様子を終わりまで見ていたローマの百人隊長は、神を賛美して言いました。
- 百人隊長
本当にこの人は正しい方であった。
- ナレーション
イエスが息を引き取られた時、エルサレムに地震が起こり、死人がよみがえり、数々の不思議なことが起こりました。そして神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けました。イエスの十字架の死は、彼の挫折と失敗を意味しているのでしょうか？ 決しそうではありません。イエスがゲッセマネの園で祈られたように、父なる神のみ心が行われたのでした。弟子のペテロはのちにこう言っています。
- ペテロ(老人)
そして主イエスは自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。
- ナレーション
イエスの十字架の死は、私たち人間の罪の解決のために支払われた大いなる犠牲であり、神の愛の表れでした。しかし、神のみ子のご生涯は、“死”で終わりはしませんでした。神は、あの十字架のイエスの叫びに応えられたかのように、やがて私たちの人生を、冷たい死の闇から光へと変える、大いなる出来事を備えておられたのです。

<後編 空虚な墓>

- ナレーション イエスは、ご自分が殺されることを幾度も弟子たちに話しておられました。しかし弟子たちは、実際にイエスが十字架にかけられ、苦しめる姿を目の当たりにした時、恐れのために、イエスに近づく者はいませんでした。イエスが十字架の上で息を引き取られたのを知り、アリマタヤのヨセフという弟子が勇気を奮って、ピラトにイエスの遺体の引き渡しを願い出ました。彼はイエスの体をもらい受け、丁重に処置し、新しい墓に納めました。そして墓の前に大きな石を転がしておき、誰も入れないようにしました。イエスを思いのまま殺してしまった祭司長たちは、彼らの勝利に満足していたわけではありませんでした。
- 祭司長 ピラト閣下。実はあのイエスが、「自分は死んだのち、3 日目によみがえる」と言っていたのを思い出しました。少々心配なので、3 日目まで墓の番をするように兵士に命令してください。弟子がイエスを盗み出して、イエスがよみがえったと言いふらしかねません。
- ナレーション それを聞いて総督ピラトも心配になり、兵士に命じて墓の番をさせました。入り口の大きな石に封印をし、誰も入れないように、寝ずの番を命じました。一方、イエスの弟子たちは、再び、母マリヤ、ペテロやヨハネのところに集まりました。息をひそめ、祈り合い、語り合っ、互いに励まし合っていました。安息日の土曜日は、イエスの死の悲しみと共に静かに過ぎてゆきました。その安息日が終わり、週の初めの日、日曜日の早朝、マグダラのマリヤたち、イエスの女の弟子たちは、急いでイエスの体の納めてある墓に出かけました。
- マグダラのマリヤ イエス様を入れた墓に入れるかしら。入り口のあの大きな石を動かすことは、私たちには到底できないわ。
- 女 1 でも、行くだけは行ってみましょうよ。助けてくれる人がいるかもしれませんし。
- 女 2 そうですとも。早く行きましょう。
- ナレーション 女たちは、イエスの体に塗るための香料を持ち、人目につかないように墓に急ぎました。女たちが墓に着くと間もなく、地震が起こりました。心配していた入り口の大石は脇に転がっていました。その時、神様からのみ使いが、そこにいるのに気づきました。稲妻のように輝く顔と、白い衣をまとっていました。
- 番兵 おお! か、神様だ!
- 女たち ああ、神様。お助けください。
- み使い(効果音) (エコー) 恐れてはいけません。十字架につけられ、葬られたイエス様を探しているのですね? 今はもうここにはおられません。「私は必ず罪人らの手に渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければなりません」と言われていたとおりに、復活されたのです。今も生きておられる方を、死人の中に探すことはありません。
- ナレーション 女たちは、このみ使いの言うことがよく分からず、途方に暮れていました。墓にイエス様の体がないのを見て悲しくなり、マグダラのマリヤは泣いていました。
- イエス なぜあなたは泣いているのですか?
- マグダラのマリヤ 誰かが、私の主を取っていきました。どこに置いたか分からないのです。もしあなたがあの方を運んだのなら、どこに置いたか教えてください。

イエス マリヤ、私です。

マグダラのマリヤ ラボニ、先生!

ナレーション マリヤはその方が復活されたイエスであることに、初めて気づきました。マリヤはこのことを他の弟子たちに知らせようと急ぎました。一方、墓を守っていた番兵たちは、すぐに起こったことを全て祭司長らに報告するために急ぎました。祭司長らは協議し、その兵士らに多額の金を与えて、「夜、私たちが眠っていたら、弟子たちが来て、イエスを盗んで言った」と言うように頼みました。そこで兵士らは指図通りにしました。その日の夕方、ペテロたちが集っている所にイエスは来られ、彼らの真ん中に立たれました。

イエス シャローム! 平安があなた方にあるように。父が私を遣わされたように、私もあなた方を遣わします。聖霊を受けなさい。あなた方が誰かの罪を赦すなら、その人の罪は赦されます。

ナレーション イエスは、恐れている弟子たちに手と脇腹の傷を見せ、確かにご自分であることを示されて、彼らを力づけられました。ただ弟子のトマスは、その場におらずお会いできませんでした。同じ頃、2人の弟子が、エルサレムから11キロ離れたエマオという村に出かけていく途中でした。2人はこの3日間のことをあれこれと話し合っていました。

クレオパ 女たちが言っていた「イエス様が復活された」ということは、どうも信じられないなあ。お前、どう思う?

他の弟子 そうだなあ。そんなこと、いくらイエス様でもあり得ないよ。

ナレーション と、よみがえられたイエス様が彼らと共に歩み始められました。しかし彼らはイエスとは全く気づきません。

イエス あなた方は何を話しているのですか?

クレオパ あなたもエルサレムにおられたのならご存じでしょう。ナザレ人イエス様のことですよ。この方は力あるまことの預言者でしたが、祭司長たちは、この方を十字架につけて殺してしまいました。私たちは、この方こそイスラエルを救う方と思って従ってきたのですが…。今日、朝早く女たちが、イエス様を入れた墓に行くくと、イエス様はそこにおられず、み使いが現れて、「イエス様は復活された」と言ったそうですが、どうもねえ。

ナレーション イエスは一緒に歩きながら、救い主が苦しみを受け、また復活することを聖書から説き明かされましたが、彼らはまだイエスとは気づきません。夕方エマオに着きました。イエスは彼らに誘われるまま、夕食の席に着かれ、パンを裂いて食べ始めようとされて、初めて彼らは気づきました。

他の弟子 この方はイエス様だ!

クレオパ イエス様だ!

ナレーション 彼らは、夜道を急ぎ、エルサレムに引き返し、他の弟子たちにこのことを知らせました。それから8日目に、弟子たちがエルサレムのいつもの家で集まっていました。その時はトマスも一緒でした。彼は「自分の目でイエスの傷を見、手で触れない限りイエスがよみがえられたことなど信じられない」と言っていました。その日も以前と同じように、イエスは彼らの中に立たれました。

イエス シャローム、平安がありますように。トマス、あなたの指を私の手の傷に付けて、よく見なさい。手を伸ばして私の脇腹の傷に触れてみなさい。そして私が復活したのを信じなさい。

トマス おお、我が主よ! 我が神よ!

イエス あなたは私を目で見、手で触れたので信じたのですか? 見ないでも心で信じる者は、もっと豊かな祝福が与えられます。

ナレーション そののち、イエスはガリラヤの湖畔でもう一度ご自分を弟子たちに現されました。ペテロを始め弟子たちの多くは、故郷のガリラヤに帰っていたのです。

ペテロ 今日は漁に行ってみる。

弟子たち 俺たちも一緒に行くよ、ペテロ。

ナレーション 夜通し漁をしても、その日は何も捕れません。夜が明け、岸に引き返すと、そこにイエスが立っておられましたが、彼らはイエスだと気がつきません。

イエス おーい、魚は捕れなかったね?

ペテロ 何も捕れません。

イエス 舟の右側に網を下ろしてみなさい。そうすれば捕れます。

ナレーション 彼らは言われるとおりの網を下ろしました。すると、おびたしい魚のために、網を引き上げることができませんでした。

弟子たち あれはイエス様だ!

ナレーション ペテロは裸だったので、上着を着け、湖に飛び込んで泳ぎ始めました。一刻も早くイエスのところに行きたかったからです。

イエスと弟子たちは、岸でパンと魚を焼いての食事をとりました。誰もがもはや「あなたはどなたですか?」とは問いませんでした。食事が終わり、イエスはペテロに語りかけられました。

イエス ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に私を愛しますか?

ペテロ はい、イエス様。私があなたを愛することは、あなたをご存じです。

イエス 私の小羊である人々を飼いなさい。

ナレーション イエスは3度同じ言葉でペテロに語りかけられました。ペテロは3度も同じように聞かれたことに心を痛めました。かつて、3度もイエスを知らないで裏切った時のことを思い出したのです。イエスは40日間、彼らに現れて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを弟子たちに示されました。そしていよいよ、イエスが天にお帰りになる時が来ました。

(音楽) (ヘンデル「ハレルヤコーラス」バックに)

イエス 聖霊があなた方に臨まれる時、あなた方は力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、及び地の果てまで、私の証人となります。

ナレーション イエスは弟子たちが見ている間に、天に上げられ、雲に囲まれて、見えなくなりました。弟子たちは、イエスの「再び来る」との約束を心にかみ締めながら、いつまでも見上げていました。

(音楽) (「ハレルヤコーラス」高まる)

(完)